



# 水質に関するQ&A



## 1. 水質検査について

### ①一般家庭での水質検査はしてもらえるのですか？

申し訳ありませんが、当企業団では一般家庭での水質検査は実施しておりません。水道水については、お住まいの市町村水道担当窓口、井戸水については民間の水質検査機関等へお問い合わせ下さい。

### ②どのような水質検査をしているのですか。

水道水の水質は、水道法に基づいた水質基準に適合する必要があります。そのため、企業団では、原水、浄水、構成団体の配水池、河川及びダム群(水源)水の詳細な検査を毎月行っています。また、浄水過程の水については、色、にごり、臭いなど基本的な項目の検査を毎日1回以上行い、水道水の安全性や処理状況の確認を行っています。詳しくは、水質検査計画をご覧ください。

### ③水質検査の結果はどのようにして知ることができますか。

企業団のホームページで、毎月行っている原水、浄水および配水場の水質検査結果についてご覧になれます。そのほかの水質検査結果については、企業団水質センターまでお問い合わせ下さい。



## 2. 水質の異常について

### (色・濁り)

#### ①蛇口から黒い異物がでてくるのですか。

水道の蛇口で使用しているゴムパッキンやゴムパイプなどが劣化して剥がれてきたものが原因と考えられます。開栓直後に一時的に見られることが多く、しばらく流して様子を見ることが望ましいと考えられます。また、必要に応じて劣化したパッキンなどの交換が考えられます。

## ②蛇口から白い異物がでてくるのですが。

給水管の接合部分に使用しているシーリング剤が剥がれたものや、モルタルライニング管\*の内面を保護している樹脂などが剥がれてきたものと考えられます。

\*モルタルライニング管とは、さび止めのために管内面にモルタルを施し、表面にシーリング剤を塗り塗したものの。

## ③やかん、蛇口付近に白い固形物がつくのですが。

水道水には、水の味をよくするカルシウムやマグネシウムのミネラル分(硬度成分)が含まれています。水道水を沸かすと、これらの硬度成分が固まってしまい、白く付着することがあります。そのまま使用しても、水道水の安全性に問題ありません。

## ④蛇口をひねると白くにごった水がでるのですが。

水道水中に含まれている空気が無数の小さな泡となって、白くなったものが見られます。また、蛇口から勢いよく多量に出した場合や、給湯設備で水道水が急激に過熱された場合にも見られます。しばらく静置すると透明になる場合は空気の泡であるため、水道水の安全性に問題ありません。

## ⑤赤水がでるのですが。

配水管や給水管の鉄さびが原因と考えられます。短時間の場合は、しばらく水を捨てて下さい。近隣の家庭など、広い範囲で見られる場合は管内の洗浄や管の敷設替え作業が必要な場合がありますので、お住まいの市町村水道担当窓口に連絡をお願いします。

なお、鉄分は必須栄養素で、他の元素に比べて毒性が弱いといわれており、人体への影響は通常の摂取量では問題なく、誤って赤水を飲んでも衛生上有害ということはありません。

## (臭い)

### ①カルキ臭(塩素臭)がするのですが。

水道水は、水道法により塩素消毒が義務づけられており、衛生上の措置として給水栓水で遊離残留塩素が 0.1mg/L 以上になるように定められています。そのため、個人差により、塩素臭を感じるがありますが、この臭いは水道水が病原菌等からの汚染から守られ、消毒された安全な水である証拠です。水道水を沸かし、冷やすことで解消されます。

### ②カビくさい臭いがするのですが。

水が停滞する河川や湖沼では、水温が上昇すると藻類が異常発生し、かび臭を発生することがあります。水道水の安全性に問題はありますが、企業団では、臭いをとるために活性炭処理を行っています。



### 3. 水の安全性について

#### ①水道水には発がん性物質であるトリハロメタンが入っているらしいのですが、大丈夫ですか？

トリハロメタンは、浄水処理で消毒のために使われる塩素と、原水中の有機物\*が反応してできる物質です。企業団では、トリハロメタンの水質基準値0.1mg/Lを守るために、これよりも低い管理基準を設定しています。そして、原水中の有機物を取り除くために活性炭処理を行うとともに、適切な塩素の注入を行い管理しています。なお、水質基準は、生涯にわたって水を飲んでも人の健康に影響ない水準を基に定められています。

\* 有機物とは、生活排水や農業・工業排水に含まれる有機着色成分「フミン質」やプランクトン、藻類などによる分解代謝物のこと。

#### ②水道水にはクリプトスポリジウムの影響はないのですか。

クリプトスポリジウムは、人や動物の腸管内に寄生し、感染すると腹痛を伴う激しい下痢、腹痛、発熱等を引き起こします。塩素に耐性があり、水道水の消毒程度の塩素濃度ではほとんど死滅されませんが、適切な浄水処理を行い、水の濁りを取り除くことで除去されます。

企業団では、ろ過水の濁度を常時監視し、また原水と浄水のクリプトスポリジウム検査及び指標菌\*の検査を行い、管理しています。

\* 指標菌の検査とは、クリプトスポリジウム検査は複雑で高度な技術が必要で日数がかかることから、指標菌(大腸菌および嫌気性芽胞菌)の検査を実施し、いずれかの菌が検出された場合には、クリプトスポリジウムによる汚染のおそれがあると判断します。

#### ③水道水にはダイオキシンの影響はないのですか。

ダイオキシン類は、ごみの焼却、金属精錬などの際に、炭素・酸素・水素・塩素が熱せられるような過程で自然にできてしまう副生成物です。水道水においては、ダイオキシン類は、要検討項目\*として目標値1pgTEQ/L(暫定)が定められています。企業団では、平成11年度より、原水および浄水のダイオキシン類の実態調査を行っていますが、目標値よりも非常に低い値であり問題ないことを確認しています。

\* 要検討項目とは、毒性評価が定まらない物質や、水道水中での検出実態が明らかでない項目として、水質基準項目、水質管理目標設定項目に分類できない40項目が位置づけられています。



## 4. その他

### ①水道水の保存期間はどのくらいですか。

水道水は、水道法により塩素消毒が義務づけられており、衛生上の措置として給水栓水で遊離残留塩素が0.1mg/L以上になるように定められています。しかし、この遊離残留塩素は、時間の経過とともに減少しやすく、また水温が高いとその減少する速さも速くなります。そのため、水道水の保存には、密閉した容器で、日光の当たらない冷暗所での保存が約3日間を目安として可能です。保存期間が過ぎた水は、飲用以外の雑用水(掃除・洗濯など)として使用して下さい。

### ②硬水と軟水の違いは何ですか。

硬水か軟水を決めるのは、硬度で、これは水道水中に含まれるカルシウムとマグネシウムの合計量を数値化したものです。この数値が高いもの(カルシウムとマグネシウムを多く含む水)を硬水、低いもの(カルシウムとマグネシウムが少ない水)を軟水といいます。硬度が低いとくせがなく、高いと硬く重い感じがし、好き嫌いがでます。昭和60年に厚生省(現厚生労働省)が設置した「おいしい水研究会」でのおいしい水の要件では、硬度が10~100mg/Lの水がおいしいといわれています。企業団の硬度は年間を通じて40mg/L程度でおいしい水の要件に入っています。